

令和7年度（2025年度）

施政方針

沖縄市

第 436 回沖縄市議会定例会にあたり、令和 7 年度の市政運営に関する所信を申し上げ、市民の皆さま並びに議員の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

この度の市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまのご信託を賜り、第 14 代沖縄市長に就任させていただきましたことに、心から感謝を申し上げます。本市のさらなる発展を託していただき、市民の皆さまの期待の大きさと責任の重さに、改めて身の引き締まる思いであります。

「活力あふれる沖縄市に復活させる」という、確固たる信念をもって、市政運営を担っていた桑江朝千夫前市長は、誰よりもこのまちを愛していました。

思いもよらぬ訃報から半年が経過するなか、政治の師と仰ぎ、教え育てていただいたことの全てが、時おり去来し、ふと、こだわりが強かった先達のあの笑顔に、もう会うことは叶わないのかと思うと、やり場のない深いかなしみがこみ上げてきます。

しかしながら、3 期 10 年余にわたって積み重ねられてきた数多くの実績と、多くの市民の皆さまから私に与えていただいた大きな力が一つとなり、本日、ここに導かれていることを胸に刻み、私は、市民の皆さまの思いを原動力に自らを奮い立たせ、沖縄市のさらなる発展に向けた新たなまちづくりへと、挑戦する覚悟であります。

昨年度は、市制施行 50 周年の大きな節目の年であり、激動ともいえる時代を果敢に切り拓き、今日の沖縄市を築いた先人たちの礎を再認識する意義深い 1 年でありました。

新たな半世紀がスタートし、本市の将来を展望した時、まちづくりの根幹は、これまで先人たちがつくり上げてきた地域の魅力にあると確信しております。

私は、地域固有の魅力と価値を一層高め、次の世代へ発展的に継承していくことが重要であると考えており、市制 100 周年への確かな礎となる、自治会を核とした活気あるまちづくりに全力で邁進してまいります。

今年は、太平洋戦争が終結してから 80 年となります。沖縄戦では、一般の住民を含む県民約 12 万人が、その尊い命を落としました。

私は、平和であるからこそ、今の繁栄があるということを深く認識し、悲惨な戦争を二度と繰り返してはならないとの決意のもと、沖縄戦終結の地となった本市が、平和の尊さを継承し、発信する取り組みを継続的かつ総合的にすすめ、平和な世をしっかりと後世につなげてまいります。

昭和 60 年に決議した核兵器廃絶平和都市宣言は、本年、40 年の節目となります。

我が国は世界で唯一の被爆国であり、再び地球上にあの広島・

長崎の惨禍を繰り返させてはならないとの誓いを新たに、いま、改めて宣言文の意義をかみしめ、平和行政を通じた核兵器廃絶による人類の恒久平和実現に取り組んでまいります。

災害に目を向けますと、昨年４月３日に台湾付近で発生したマグニチュード 7.7 の地震により、沖縄県内に津波警報が発表されるとともに、11 月に発生した沖縄本島北部豪雨では大きな被害が生じました。本市におきましても、今年 1 月に浸水被害が発生し、市民生活に多大な影響を及ぼすなど、自然災害の脅威が、私たちの目前まで迫ってきていることに危機感を持ち、実効性のある対策を講じていかなければなりません。

私は、激甚化・頻発化する自然災害から市民の生命と財産を守るため、新たに令和 7 年 4 月 1 日より防災危機管理室を創設し、防災・減災体制の強化を図るとともに、市全体の防災力を高める自助・共助・公助の輪を一層、強固にするための取り組みを推し進めてまいります。

防災をはじめ、防犯や福祉、子育てなど、地域の様々な課題解決に大きな役割を果たしている自治会は、重要な存在であります。

地域には、歴史的な文化財や独自の伝統文化、豊かな自然環境、市民活動が活発な地域性などの特有の魅力があり、住み暮らす人々の心の拠りどころとなっております。

市民の皆さまが、自らの地域の特色や魅力を愛し、誇りとする「オンリーワンの地域づくり」をすすめ、ひいては市全体の魅力向上へとつなげてまいります。

地域に根付いた伝統芸能であるエイサーは、本市の財産であります。戦後復興を期して開催された「全島エイサーコンクール」は、今や、沖縄の夏の風物詩と形容される「沖縄全島エイサーまつり」へと飛躍的な成長を遂げ、今年 70 回目を迎えます。

青年会をはじめとするエイサーの担い手は、地域の特色あるエイサー文化を体現する継承者であり、日々練習や工夫を重ね、島人の魂を駆り立て、人々を魅了する演舞へと挑み続けています。そのひたむきな姿に敬意を表するとともに、晴れの舞台となる第 70 回 沖縄全島エイサーまつりが演者、観客双方の思い出に残る大会となるよう、全力を傾注してまいります。

地域経済の活性化に向けては、沖縄サントリーアリーナやモータースポーツマルチフィールド沖縄などの、スポーツと観光を融合した取り組みのさらなる展開が重要となります。

スポーツを通じた新たな観光交流拠点の形成を図るため、コザ運動公園のリニューアル整備をおこなうとともに、沖縄サントリーアリーナのバスケットボール聖地化やインバウンドの誘客拡大によるまちの活性化に取り組んでまいります。

ナイトZOO開園による活況とともに、昨年度に過去最高の入園者数を記録した沖縄こどもの国につきましては、施設のリニューアルやエリア拡充はもとより、国内外で人気を誇る動物の積極的導入と斬新な展示手法を掛け合わせ、来場者を一層の興奮体験へと誘います。

訪れるたびに、主役となる動物たちがこどもたちや観光客を経験したことのない発見や驚きに引き合わせ、ここでしか体験できない感動に満ちた動物園づくりに取り組んでまいります。

東部地域のみならず、本島東海岸一帯の活性化の旗手と期待される「潮乃森」につきましては、早期整備に向けて全力で取り組むとともに、世界中からリゾート地として選ばれるためのマリーナ整備や宿泊施設の誘致、島全体がカーボンニュートラルを実装する仕組みづくりに注力してまいります。

中心市街地につきましては、スタートアップ支援や商業振興により、多くの創業者の輩出や商店街に新たな店舗が軒並みオープンするなどの実績を上げております。起業にチャレンジしたい人が内外からこぞって集まり、スタートアップが続出するまちへと成長させるべく、取り組んでまいります。

また、国・県をはじめ、地域や商店街の皆さまと連携してすすめてきたバスタ構想は、事業化に向けた新たなフェーズへと移行しつつあります。

商店街のリニューアルはもとより、交通拠点を中心に、本市のランドマークや観光・商業エリアへと快適に回遊できる新たな公共交通ネットワークの構築に取り組んでまいります。

かけがえのない存在であるこどもたちが健やかに育まれ、これからの時代や未来を果敢に切り拓いていけるよう、まち全体が後押ししていかなければなりません。

喫緊の課題であるこどもの貧困の連鎖を断ち切るため、対策の強化に取り組むとともに、新たな命を望む方々の希望が叶う環境づくりをすすめてまいります。

時代とともに、社会構造や家族の在りようが変化し、人々のつながりが希薄化するなか、年齢や障がい、経済状況といった属性にかかわらず、誰もが地域の中で役割を持ち、ともに暮らしていけるまちづくりが求められております。

これまで準備をすすめてきた重層的支援体制整備事業を、県内に先駆けて今年度よりスタートさせ、行政はもとより、地域や関係団体の皆さまと手を携えて、福祉の未来像となる地域共生社会の実現に取り組んでまいります。

市長に就任するにあたって、これまで推し進めてきた政策を継承・深化させるため、「プロジェクトK 2.0」に掲げる3つの基本方針のもと、市政を運営してまいります。

一、活力あふれる沖縄市

経済の活性化を図るため、沖縄サントリーアリーナのバスケットボール聖地化やアリーナを活かしたまちの活性化、コザ運動公園リニューアル整備をはじめ、沖縄こどもの国の整備拡充や歴史・文化を活かした観光と人材育成、インバウンドの誘客拡大、モータースポーツの振興に取り組むとともに、誰もが安心して観光が楽しめる環境づくりをすすめます。

経済と暮らしの基盤をつくるため、「潮乃森」の早期整備や地方創生 2.0 の活用をはじめ、ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用や中城湾港の物流・人流拠点の強化、「海の駅」の整備促進を図るとともに、胡屋地区交通結節点の整備や用途地域見直し等による企業誘致、知花花織会館整備の可能性調査、女性・若者の就労支援等に取り組みます。

一、未来を拓くこどものまち

こどもたちの生きる力と確かな学力の育成に向け、給付型奨学金の拡充やまちなか留学、ICT活用による教育を推進するとともに、給食費助成の段階的拡充や給食の地産地消、教育費の負担軽減、部活動等の県外大会派遣費の助成をおこないます。

こどもの育ちと子育てを支えるため、不妊治療の助成制度創設やこども医療費無償化の18歳までの拡充、こどもの貧困対策の充実強化、若年妊産婦の支援強化をおこなうとともに、産前産後サポートの充実や屋内遊戯施設の整備、孫育て支援に取り

組みます。

結婚したい人を応援するため、婚活支援をおこなうとともに、まちなか子育て交流センターの設置や幼児教育・保育の支援拡充、沖縄こどもの国の入園料無料の対象年齢拡充に取り組みます。

一、あんしんして暮らせる沖縄市

地域コミュニティの活性化を図るため、自治会を活かしたまちづくりや北部地域の自治会公民館建設等を推進するとともに、市民の安全・安心を守るため、大雨による冠水・浸水対策と防災・減災対策の強化や福祉避難所の拡充、日米地位協定の見直しに取り組みます。

市民の健康および福祉の増進を図るため、高齢者の带状疱疹ワクチン接種補助制度創設および肺炎球菌ワクチン・インフルエンザワクチン接種の全額補助継続に取り組むとともに、地域共生社会に向けた重層的支援と孤立・孤独対策や障がい児・者支援の充実、パークゴルフ場の整備等をすすめます。

快適で良好な都市を創出するため、住宅確保要配慮者の居住支援・空家対策やゼロカーボンシティを推進するとともに、黒潮公園の遊具改修、新火葬場の建設、胡屋北・登川クランク・高原交差点の早期改良、（仮称）池武当 I C の早期整備促進等に取り組みます。

以上、市政運営に対する私の所信の一端を申し述べさせていただきました。

私は、東日本大震災の復興にあたり、政治の圧倒的な実行力を目の当たりにしてこの道を志し、政治家となってからは、桑江前市長の献身かつ情熱的な仕事ぶりに多くを学びました。

このかけがえのない経験を糧として、政治とは結果を示すことであるとの信念を体現すべく、愚直に市政運営に取り組み、市民の皆さまが誇れる沖縄市を創り上げてまいります。

そのためには、市民の皆さま並びに議員の皆さまのお力添えは不可欠であり、重ねてご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、令和7年度の主な施策の概要について申し上げます。

はじめに「平和への思いと豊かな文化が息づき 一人ひとりが輝き交流するまち」です。

平和行政の推進につきましては、沖縄戦終結から80年および核兵器廃絶平和都市宣言から40年の節目を迎えるにあたり、悲惨な沖縄戦の教訓および平和の尊さを継承するため、沖縄市民平和の日記念行事の開催および平和学習コンテンツサイトの充実に取り組むとともに、平和に関するロゴコンクールを実施するなど、平和を広く発信します。

また、平和大使を育成するなど、市民の主体的な平和活動を支援します。

人権の啓発につきましては、人権教室および特設人権相談所の開設を支援するとともに、性の多様性の理解促進に向けた講座等を開催します。

認知症高齢者等の支援につきましては、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる地域づくりに向け、金銭管理に関する相談支援等をおこなうとともに、認知症地域支援推進員による認知症の普及啓発活動やアウトリーチ等に取り組みます。

男女共同参画社会づくりの推進につきましては、きらめきフェスタの開催をはじめ、啓発紙「きらめき」の発行、各種講座の開催や男女共同参画週間におけるパネル展等をとおして普及・啓発を図ります。

文化芸術の振興につきましては、文化活動団体が実施する舞台公演等を支援するとともに、芸術文化の継承発展に向け、沖縄市文化芸術祭を開催するなど、市民が芸術文化に触れる機会を創出します。

また、沖縄市文化協会創立 70 周年の節目を記念した式典・祝賀会の開催を支援します。

戦後文化の発信と歴史学習の支援につきましては、沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリートにおいて、戦後 80 年をテーマにした企画展を開催するとともに、市史資料の充実に向け、「沖縄市史」第五巻移民編および第六巻戦後編の発刊に取り組みます。

文化財の保存と活用につきましては、文化財の保護意識の向上を図るため、地域の民話に関する普及書を作成するとともに、博物館市民講座を実施します。

また、国指定名勝「アマミクヌムイ」に追加指定された越来グスクの保全に向け、実施設計をおこないます。

生涯学習の推進につきましては、市民の学習意欲向上および学びの機会創出を図るため、沖縄市生涯学習フェスティバルを開催します。

また、青年会等の社会教育団体の活動を支援します。

市民スポーツの推進につきましては、誰でも気軽に参加できるスポーツ教室を開催するとともに、スポーツデイにおいて、パラスポーツ親子体験会を実施するなど、スポーツ活動機会の提供に取り組みます。

国内交流につきましては、豊中市とのスポーツ交流を支援するとともに、米沢市および東海市との教育文化交流をおこなうなど、

市民が主体となった兄弟・姉妹都市との交流を促進します。

国際交流につきましては、沖縄からハワイへ最初の移民がわたってから 125 周年の節目を迎えるにあたり、記念事業への参加を通じて交流を深めるとともに、国際性を備えた人材の育成および市民主体の交流促進を図るため、コザインターナショナルプラザにおいて、各種語学講座や地域と連携した国際交流イベント等を実施します。

地域コミュニティの活性化につきましては、自治会の加入促進を図るため、新たに自治会 P R 活動を支援するとともに、S N S を活用した効果的な情報発信を促進します。

また、自治会を活かしたまちづくりに向け、地域へのヒアリング等を通じた調査研究をおこなうとともに、自治会活動に必要な備品の購入や地域ものづくり活動等を支援します。

地域コミュニティ活動拠点施設の整備につきましては、施設の建替えに向け、山里自治会公民館および松本地区におけるコミュニティ供用施設の建設工事等を実施します。

また、登川地区および知花地区におけるコミュニティ供用施設の基本設計等に取り組みます。

施設の改修に関しては、明道地区学習等供用施設の屋根防水工事および美里地区学習等供用施設の衛生設備改修工事を実施するとともに、与儀公民館の天井改修工事を支援します。

多文化共生の推進につきましては、庁内窓口における通訳や広報誌「ニューズレター」の発行等に取り組みます。

次に「夢を抱き 未来を拓く こどものまち」です。

大学等への進学促進につきましては、意欲があるにもかかわらず経済的理由により進学が困難な方を対象に奨学金を給付するとともに、修学にかかる負担軽減に向け、沖縄市育英会の活動を支援します。

こどもの居場所づくりにつきましては、関係機関との連携のもと、居場所を必要とするこどもの状況を把握し、適切な支援をおこなうとともに、食事提供や学習支援等に取り組む団体の活動を支援します。

また、教育・福祉の効果的な連携に向けた地域の協議会を設置するとともに、居場所に通うこどもたちの学習定着および学力向上を図るため、新たにボランティアによる学習支援員を派遣します。

自治会におけるこども食堂に関しては、新規開設を支援します。

若年妊産婦の支援につきましては、家庭や社会から孤立することなく、安全・安心な産前・産後を過ごせるよう、居場所を提供するとともに、自立に向けた相談支援や資格取得費用の助成等をおこないます。

待機児童の解消につきましては、保育人材の確保に向け、保育士の正規雇用化や復職等を支援するとともに、保育士が働きやすい環境をつくるため、保育補助者の配置や年休の取得等を促進します。

認可外保育施設の支援につきましては、こどもたちの健やかな育ちを促進するため、給食費等の助成や保育の質の向上を図る研修等をおこないます。

母子保健の推進につきましては、沖縄市親子手帳アプリ「OK I O K O」を活用した乳幼児健診の予約受付や子育てに関する情報発信等をおこなうとともに、母親の身体的回復や心理的な安定等を図るため、産後ケア事業を実施します。

また、こどもを産み育てたいと思う方々の経済的負担軽減を図るため、新たに不妊治療にかかる助成制度を創設します。

発達の気になる子の支援につきましては、早期発見・支援に向け、発達相談や親子通園による療育をおこなうなど、こどもの発達段階に応じたきめ細やかな支援に取り組みます。

こども医療費助成につきましては、こどもの健康増進および子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、令和7年4月より、通院・入院医療費の窓口無料化を18歳に到達した年度末まで拡充しています。

ひとり親家庭の支援につきましては、子育てにかかる経済的な負担を軽減するため、放課後児童クラブおよび認可外保育施設の利用料を助成します。

また、就職に結びつく資格取得費用を助成し、社会的自立を促進するとともに、母子生活支援施設レインボーハイツにおいて、母子の自立支援に取り組みます。

要保護児童等の支援につきましては、保護者の疾病等によりこどもを養育することが一時的に困難となった家庭に対し、ショートステイ等を実施します。

また、関係機関と連携し、虐待の早期発見・対応に取り組むとともに、子育てに関する不安の解消やヤングケアラーの負担軽減等に向け、育児・家事支援をおこなう訪問支援員を派遣します。

すべての妊産婦や子育て世帯等への包括的な支援につきましては、沖縄市こども家庭センターにおいて、母子保健・児童福祉機能の一体的な運営により、切れ目のない支援をおこなうとともに、家庭の孤立化を防ぎ、地域社会とつながる機会を創出するため、乳児のいる全家庭を訪問します。

地域における子育て支援につきましては、子育てに関する不安や孤立感等の軽減を図るため、地域子育て支援センターやつどいの広場等において、保護者同士が交流する機会等を提供するとと

もに、ファミリー・サポート・センターにおいて、育児相互援助を促進します。

放課後の居場所づくりにつきましては、新たにきたみ児童館およびきたみ児童館内放課後児童クラブの供用を開始するとともに、地域と連携し、小学校の敷地において放課後子ども教室を実施します。

学力の向上につきましては、こどもの習熟度に応じて出題されるA Iドリルの活用、学習支援員の配置や「ひやみかち教室」の実施等を通じて、児童生徒一人ひとりに応じた学習支援をおこないます。

また、教員のI C T活用指導力の向上を図るため、研修や支援員の配置等をおこないます。

学習意欲の向上につきましては、各種検定試験の検定料を支援するとともに、小中学校において、科学の面白さを体験できる出前講座を実施します。

また、児童生徒に外国語および異文化に触れる機会を提供するため、小中学校に外国語指導助手を配置するとともに、新たに中学校においてデジタルを効果的に活用した英語学習に取り組みます。

教育相談につきましては、児童生徒が抱える課題の解決に向け、中学校に心の教室相談員を配置するとともに、小学校において、

スクールカウンセラーによる児童・教職員等へのカウンセリングをおこないます。

不登校児童生徒の支援につきましては、こどもたちの社会的自立に向け、こども支援教室「すだち」や児童館等において、学習支援や教育相談等をおこないます。

また、児童生徒等一人ひとりの状況に応じた支援の充実を図るため、新たに沖縄市教育支援センターを設置し、機能充実に向けた改修工事を実施します。

就学にかかる負担軽減につきましては、就学援助における児童生徒の学用品費および修学旅行費を充実します。

また、援助を必要とする世帯が利用できるよう、制度の周知に取り組めます。

特別な支援が必要な児童生徒につきましては、障がいの有無にかかわらず、ともに学ぶことができるよう、特別支援教育補助者や介助者等を配置します。

また、医療的ケア児が個々の状況に応じた適切な支援を受けられるよう、チーフ看護師等を配置します。

外国籍の児童生徒につきましては、学校生活に適應できるよう、日本語指導員による学習支援等をおこないます。

学校教育施設の整備につきましては、安慶田中学校の校舎改築工事および宮里中学校の太陽光発電設備工事を実施するとともに、美里中学校の防球ネット整備工事や安慶田小学校の体育館床改修工事等をおこないます。

学校給食につきましては、こどもたちの健やかな成長を支えるため、給食の質の充実を図るとともに、安全・安心な給食を提供するため、食物アレルギーへの対応等をおこないます。

また、多子世帯の経済的負担軽減を図るため、同一世帯の3人目以降の児童生徒を対象に学校給食費を助成します。

青少年のスポーツ活動の促進につきましては、沖縄市スポーツ少年団本部の活動を支援するとともに、県外大会等に参加する児童生徒の派遣費を助成します。

青少年の健全育成につきましては、登下校時の巡回指導や夜間の街頭指導等をおこなうとともに、若者相談窓口において、社会生活を送ることが困難な若者の社会復帰に向けた支援に取り組みます。

次に「ともに生きる心が広がり いきいきと暮らせるまち」です。

地域福祉の推進につきましては、地域共生社会の実現に向け、社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会等と連携した地域づ

くりやボランティア活動等を支援するとともに、新たに世代や属性にかかわらず、幅広く相談を受け止める重層的支援体制整備事業を開始します。

高齢者の福祉につきましては、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、高齢者を地域で支える体制づくりに取り組むとともに、住民主体の介護予防活動および社会参加を通じた高齢者の生きがいを促進します。

また、介護者の不安軽減等に向け、入門的研修を実施するとともに、介護人材の確保および質の向上を図るため、介護職員初任者研修等にかかる受講費用を助成します。

障がい者の福祉につきましては、障がい者が地域で安心して暮らせるよう、相談支援や福祉サービス等を実施するとともに、関係機関と連携し、差別解消および権利擁護の普及・啓発に取り組めます。

生活困窮者の自立促進につきましては、就労や家計改善等に向けた支援をおこなうとともに、高校進学を目指す中学生を後押しするため、学習支援を実施します。

生活保護につきましては、適正な保護の実施を図るとともに、関係機関と連携し、被保護者の状況にあわせた自立支援に取り組めます。

市民の健康づくりにつきましては、健康意識の向上等を図るため、「おきはくんウォーク」による健康ポイント事業等をおこなうとともに、料理教室や市産品・県産品を活用した健康レシピコンテスト等を実施します。

また、がん患者の心理的・経済的負担軽減等を図るため、アピアランスケア用品の購入費用を助成するとともに、新たにこころの健康相談窓口を設置します。

生活習慣病対策につきましては、生活習慣病の発症・重症化予防に向け、がん検診および特定健診の受診勧奨や特定保健指導等をおこなうとともに、働きざかり世代を対象とした健康づくり教室の開催および高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組みます。

予防接種につきましては、感染防止や重症化予防等に向け、高齢者の肺炎球菌ワクチンおよびインフルエンザワクチン接種を全額公費で実施するとともに、新たに高齢者の带状疱疹ワクチン接種にかかる費用の負担軽減を図ります。

また、乳幼児等への接種勧奨や周知等に取り組みます。

次に「人と産業の成長を支え 発展し続けるまち」です。

沖縄サントリーアリーナにつきましては、世界的祭典である F I B A バスケットボールワールドカップ 2023 が開催されたことを、バスケットボールの日として受け継いでいくため、「オキナワシティバスケットボールデイ」を実施します。

また、M I C E や大型イベント等の誘致に取り組みます。

沖縄こどもの国につきましては、魅力ある施設整備に向け、世界に生息するサルの自然な生態が感じられる新サル舎の整備工事を実施するとともに、新たに新カバ舎整備に向けた基本計画を策定します。

また、魅力的な動物の導入および既存獣舎の改修に取り組むとともに、施設エリアの拡充に向け、拡張区域の用地取得をおこないます。

エイサーのまちの推進につきましては、第 70 回となる沖縄全島エイサーまつりを記念して、臨場感あふれる演舞やまつりの歴史を振り返る映像等を放映する大型ビジョンの設置等を支援します。

また、エイサー文化の継承発展に向け、エイサーナイトや地域のエイサーまつりの開催等を支援するとともに、エイサー文化の発信拠点となるエイサー会館において、エイサー検定や講座等をおこないます。

音楽によるまちづくりの推進につきましては、第40回となるピースフルラブ・ロックフェスティバルを記念して、2か所のステージによる多彩なミュージシャンの出演を支援するとともに、音楽のまちとしてのブランド力向上を図るため、音楽月間において市内の音楽情報を一体的に発信します。

また、ミュージックタウン音市場において、本市の豊富な音楽資料を活用した展示をおこなうとともに、魅力ある音楽鑑賞の機会を提供します。

観光の振興につきましては、観光ポータルサイト「KOZAWEB」やSNS等を活用し、幅広く情報発信をおこなうとともに、修学旅行の誘致やバリアフリー観光の推進等を通じて、内外からの観光誘客に取り組みます。

スポーツコンベンションの推進につきましては、新たにコザ運動公園のリニューアル整備に向けた基本構想を策定するとともに、アウェイツーリズムに取り組みます。

また、沖縄市スポーツコミッションがおこなうスポーツ合宿や大会の誘致等を支援するとともに、本市で春季キャンプを実施している広島東洋カープや本市をホームタウンとするプロスポーツチームの応援機運醸成等に取り組みます。

モータースポーツの振興につきましては、沖縄サントリーアリーナをメイン会場にオキナワモーターショー2025を開催します。

また、モータースポーツマルチフィールド沖縄において、指定管理者制度の導入に向けて取り組みます。

商店街の活性化につきましては、商店街の組織力強化等に向けた活動および誘客促進等に資する取組みを支援するとともに、銀天街の活性化を図るため、ワークショップ等の開催を通じた地域の主体的なまちづくりを促進します。

企業誘致の推進につきましては、「第5次沖縄市企業誘致基本方針」に位置づけた重点地区の利活用に向け、産業用地整備に関する情報発信等に取り組むとともに、本市へ新たに立地する企業に対する優遇措置をおこないます。

工芸によるまちづくりの推進につきましては、国の伝統的工芸品である知花花織の担い手育成、沖縄市工芸フェアの開催やコザ工芸館ふんどうの運営等を支援します。

ものづくり産業の振興につきましては、事業者の収益向上を図るため、新商品開発、販路開拓や市産品PRイベント開催等の支援に取り組むとともに、新たに市産品パンフレットを作成・配布します。

また、生産者の意欲高揚および市産品の周知促進に向け、沖縄市産業まっりの開催を支援します。

中城湾港新港地区につきましては、大阪南港および玉島港との定期航路の就航に向けた実証実験をおこなうとともに、関係機関と連携し、輸送費を助成します。

就労支援につきましては、子育て世代や障がい者等に対する就労相談や定着支援等を実施するとともに、沖縄産業開発青年協会に入隊する若年者を支援します。

創業支援につきましては、市内への産業集積に向け、創業スクールの開催や情報発信等に取り組むとともに、金融機関等と連携した創業者の資金調達およびスタートアップに関する事業計画の策定を支援します。

農業の振興につきましては、農用地の効率的かつ有効的な利用に向け、「地域計画」を推進するとともに、担い手の確保および育成を図るため、認定新規就農者を支援します。

また、耕種農業の生産性向上を図るため、スマート農業機器の導入、ビニールハウスの修繕や土壌の改良等を支援するとともに、優良な農地を確保・保全するため、「沖縄農業振興地域整備計画書」の見直しに取り組みます。

畜産業の振興につきましては、市北部地域の臭気実態調査をおこなうとともに、畜産経営の安定化を図るため、家畜伝染病の予防や優良種畜の導入等を支援します。

また、畜産共進会の開催により、農家の交流や技術提供等を通じた畜産物の品質向上を促進します。

水産業の振興につきましては、漁家経営の安定化に向け、浮漁礁の設置や漁船装備品の近代化等を支援するとともに、小学生を対象とした水産教室および中学生を対象とした漁業体験をおこないます。

次に「環境と調和し 安心して住み続けられるまち」です。

環境にやさしいまちづくりにつきましては、ゼロカーボンシティを推進するため、相談窓口の設置やホームページを通じた情報発信等をおこなうとともに、太陽光発電システムの設置や省エネ診断等にかかる費用を助成します。

また、市民参加型のイベントや自治会と連携したワークショップ等の開催によりゼロカーボンアクション 30 の普及を図るとともに、ゼロカーボンドライブの推進に向け、公用車の一部を電気自動車に更新します。

災害等に強いまちづくりにつきましては、自主防災組織の資機材の拡充や避難所用組立式トイレの整備等をおこなうとともに、防

災士資格の取得および自主防災組織の結成・活動を支援し、地域の防災力向上を図ります。

また、防災行政無線改修工事をおこなうとともに、大規模災害等に対応するため、新たに「業務継続計画」を策定します。

避難支援体制づくりに関しては、地域と連携した避難行動要支援者の把握や個別避難計画の作成等をおこないます。

消防・救急体制につきましては、市民の安全・安心の確保に向け、コンビニエンスストアのＡＥＤを更新するとともに、応急手当講習会を開催します。

また、中高層建築物の火災・人命救助にも対応可能な 35 メートル級はしご付消防自動車を更新します。

防犯環境づくりの推進につきましては、夜間における市民の安全確保に向け、全保安灯のＬＥＤ化完了に取り組むとともに、自治会の負担軽減を図るため、令和 7 年度より保安灯電気料金を無償化します。

消費者行政につきましては、高度化・複雑化する消費者トラブルの未然防止に向け、継続して市民に対する意識啓発および消費者教育に取り組めます。

都市計画につきましては、持続可能で快適なまちづくりに向け、用途地域等の見直しおよび「立地適正化計画」の作成に取り組めます。

キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区につきましては、返還後の地域経済活性化を見すえ、北中城村や地権者等と連携して「跡地利用整備計画」の策定に取り組むとともに、公共用地の先行取得をおこないます。

新火葬場の整備につきましては、持続可能な運営に向け、宜野湾市、北谷町、北中城村との連携のもと、実施設計および外構設計をおこなうとともに、運営計画の検討や用地取得等に取り組めます。

中の町地区土地区画整理事業につきましては、賑わい創出と定住促進に向け、仮換地指定に取り組むとともに、物件移転補償をおこないます。

安慶田地区土地区画整理事業につきましては、住環境の改善に向け、電線共同溝の詳細設計および物件移転補償をおこないます。

美里第二土地区画整理事業につきましては、早期完了に向け、清算金の徴収・交付にかかる資料を作成します。

東部海浜開発地区「潮乃森」につきましては、埋立、橋梁や臨港道路等の早期完成に関する要請をはじめ、ロングビーチを活かしたPRイベントおよびスーパーヨット受入れに向けた港湾計画変更にかかる取組みをおこないます。

また、企業誘致に関しては、企業等の動向を情報収集するとともに、沖縄市東部まつりと連携し、潮乃森大花火を実施します。

総合的な交通体系の構築につきましては、快適で移動しやすい道路環境の実現に向け、登川クランク交差点および高原交差点の改良や（仮称）池武当ICの整備等を促進します。

また、嘉手納飛行場の共同利活用について調査研究をおこないます。

道路整備につきましては、諸見里山里線の改良工事や用地購入等をおこなうとともに、センター中央通り線の改良工事を実施します。

市北部地域の道路整備につきましては、交通渋滞の緩和および歩行者の安全確保に向け、登川38号線の用地購入および物件移転補償をおこなうとともに、池原倉敷線の改修工事を実施します。

公共交通につきましては、公共交通ネットワークの利便性向上を図るため、「地域公共交通計画」の策定に向けた基礎調査を

おこなうとともに、循環バスを4ルートで運行します。

また、持続可能な交通環境の構築に向け、市民や地域との対話による「交通拠点まちづくり基本計画」を策定します。

道路の維持管理につきましては、日常点検および道路・公園損傷等通報アプリにより損傷・不具合を迅速に把握し、早期対応に努めるとともに、冠水対策の強化に取り組めます。

市営住宅につきましては、老朽化した建物を更新するため、山内市営住宅の本体工事および池原市営住宅の基本設計をおこなうとともに、室川市営住宅および久保田市営住宅のLED改修工事等を実施します。

住環境の向上につきましては、空家等の利活用に向けた実態調査をおこなうとともに、セーフティネット住宅の確保等を図るため、「沖縄市住生活基本計画」を改定します。

また、空家等の除却、通学路等におけるブロック塀の撤去および住宅リフォームにかかる費用の一部を支援します。

公園整備につきましては、公園の機能向上を図るため、美東公園の防災公園導入施設整備工事やアシビナー公園の災害防除整備工事等をおこなうとともに、諸見里公園の里道整備工事を実施します。

また、黒潮公園の遊具改修に向けた撤去工事および美里公園のゴムチップ舗装改修工事をおこなうとともに、近隣公園を対象としたP a r k－P F I制度の導入可能性調査を実施します。

緑化推進につきましては、緑と花あふれるガーデンシティに向け、コザ運動公園に花の壁面パネルを設置するとともに、市民参加による花いっぱい推進運動を実施します。

上水道事業につきましては、大里地区や比屋根地区等の配水管布設実施設計をおこなうとともに、泡瀬地区や宮里地区等の配水管布設工事を実施します。

汚水事業につきましては、公衆衛生の向上や公共水域の保全等を図るため、公共下水道接続の普及促進に取り組むとともに、宮里および古謝地区の管路整備をおこないます。

雨水事業につきましては、浸水被害の軽減を図るため、安慶田、古謝および宮里地区の管路整備等をおこなうとともに、近年「局地化・激甚化・集中化」する降雨への防災意識を高めるため、内水ハザードマップを作成します。

また、松本および泡瀬地区の浸水対策強化に取り組めます。

以上、令和7年度の主な施策の概要を申し上げました。

これらの施策をはじめとする諸事業を推進するために、令和7年度の予算編成にあたっては、当初予算が骨格予算になったことから、一般会計で2,109,958千円、企業会計で196,694千円の増額および特別会計で17,462千円を減額し、

一般会計において 84,579,958千円、

特別会計において 31,374,399千円、

企業会計において 9,786,048千円の規模となっております。

本市の財政状況につきましては、市税が増加傾向にあるものの、扶助費や人件費等の義務的経費や老朽化した公共施設等の整備に係る経費の伸びも予測されるため、依然として厳しい見通しとなっております。

このような状況にあっても、物価高騰等の影響を受けているすべての市民の暮らしを支えとともに、時代の潮流を的確にとらえ、さまざまな地域課題に対応していかなければなりません。

そのためには、新たな時代を見すえたまちづくりが重要であり、本市の将来像である国際文化観光都市の実現に向けた「第5次沖縄市総合計画後期基本計画」の策定に取り組んでまいります。

持続可能な行財政運営に向けて、事務や業務の見直しをおこなうなど、財政の健全化を推進するとともに、新たにオンライン決済および生成ＡＩサービスを導入するなど、デジタルを活用した市民の利便性向上や事業の効率化に取り組んでまいります。

市民の皆さまに親しまれ、信頼される市役所に向けては、職員一人ひとりが、敬愛と感謝に立脚する「孝の心」を原点として、市民と接することが重要であります。

職員が持つ能力を十分発揮できるよう、女性管理職の登用をはじめ、めざすべき職員像に向けた研修の充実等に取り組むとともに、働き方改革を通じたワーク・ライフ・バランスをすすめてまいります。

私は、これまで先人たちが市の発展に注いできた情熱を深く心に刻み、市民の皆さまからの大きな期待と厳粛な負託に応えていくという強い使命感を源泉に、この発展の可能性に満ちた沖縄市をさらに成長させてゆくという、ゆるぎない覚悟と意志をもって、全力で駆け抜けてまいります。

市民の皆さま並びに議員の皆さまのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げまして、私の就任初年の施政方針といたします。

令和 7 年 6 月 4 日

沖縄市長 花 城 大 輔